



PIXEL COMPANYZ INC.

2020.11.13

ピクセルカンパニーズ株式会社

2020年12月期 第3四半期決算 事業説明資料

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

■ 目次

- ピクセルカンパニーズ 会社概要
- 第3四半期ハイライト
 - システムイノベーション事業（ピクセルソリューションズ株式会社）
 - ディベロップメント事業（ピクセルエステート株式会社）
 - エンターテインメント事業（ピクセルゲームズ株式会社）
 - ピクセルカンパニーズ連結業績
- 質疑応答
- 日本型Integrated Resorts(日本IR)参入について
- 当社グループにおける新型コロナウイルス感染症への取組み
- お知らせ

【免責事項】

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績を確約するものでなく、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、予めご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限らず、当社グループはそのような義務を負いません。尚、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもございません。

PIXEL COMPANYZ INC.

名称
ピクセルカンパニーズ株式会社
－PIXEL COMPANYZ INC.－

代表者
吉田 弘明

設立
1986年10月

資本金
2,956百万円 (2020年9月30日現在)

従業員数
48名 (連結・アルバイト含)

証券取引所
東京証券取引所
JASDAQ (スタンダード)
証券コード 2743

事業内容
グループ全体の経営方針・
戦略策定・経営管理

経営理念

個性という輝きとグループの絆をもって
誠実で大きなビジネスを通じ
ひとりひとりが誇りをもって豊かな人生を歩む

PIXEL COMPANYZ GROUP

システムイノベーション事業

ピクセルソリューションズ株式会社

ディベロップメント事業

ピクセルエステート株式会社

エンターテインメント事業

ピクセルゲームズ株式会社

その他(海外)事業

海伯力国際貿易 (上海) 有限公司

その他(海外)事業

HYBRID(HK)CO.,LIMITED

■ 事業概要

1. 受託システム開発

- ✓ ワンストップサポート
- [計画]-[要件定義]-[移行]-[本番稼働]-[保守]

2. 技術支援サービス

- ✓ 適用業務開発
- ✓ 基盤構築
- ✓ 運用業務
- ※お客様のニーズに相応する人財の提供により
幅広くIT業務をサポート

» エンジニア

- ✓ 約70名 (パートナー企業含む)
- ✓ 多様なプログラミング言語対応
HTML・PL/I・VB・ASP・Java・Rudy・XML・CC++
・C#・Swift・Perl・.Net・COBOL・ASSEMBLER 他

■ 実績紹介

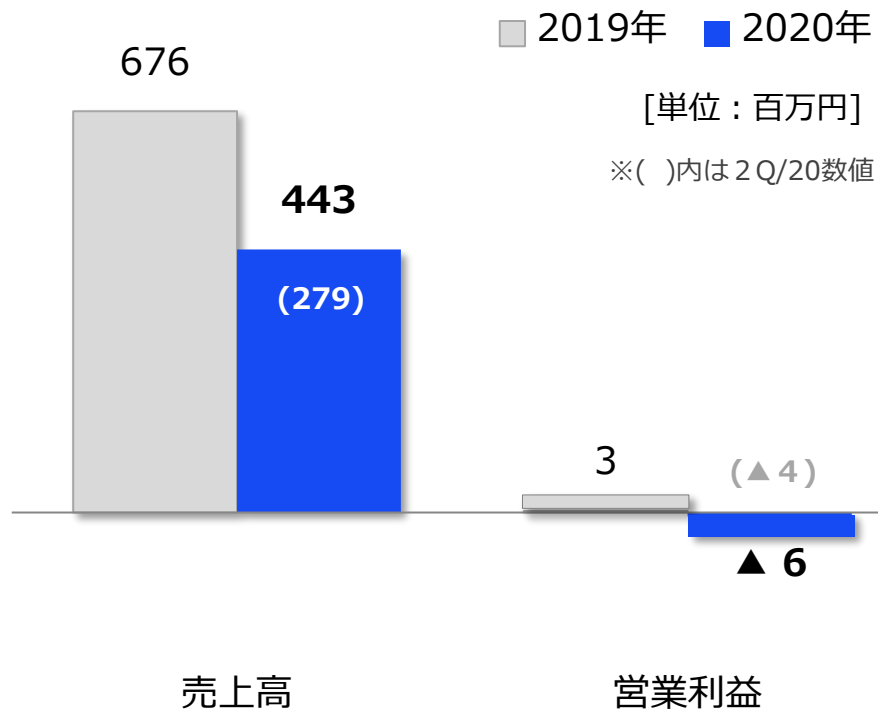
» 開発実績(一例)

- ✓ ブロックチェーン技術を用いたシステム開発
 - ・ブロックチェーンプラットフォーム：
Ethereum, Quorum, NEO, Hyperledger
 - ・ゲームアプリコイン, 地域共通通貨, カジノ用決済システム
- ✓ 顔認証システム開発
 - ・金融機関向け本人識別用システム (KYC)
- ✓ クラウドファンディングシステム
 - ・クラウドファンディングプラットフォームの基幹システム

» 主な取引先

- ・金融機関 (大手信託銀行、大手損保、大手証券会社)
- ・大手広告代理店
- ・大手通信会社
- ・官公庁、自治体
- ・ゲーム制作会社
- ・大手家電量販店グループ 他

■ 売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動

～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ デジタルトランスフォーメーション(DX)(※1)の実現に向けたシステム・ECサイトの構築・推進
- ✓ 個人認証システムをベースに先進的なFintech-サービスの構築
- ✓ 既存事業の粗利率の改善

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第3四半期への影響

- ✓ 取引先のテレワーク等による発注・検収処理の遅延
- ✓ 取引先の予算縮小・発注数の減少

想定リスク

- ✓ 在宅勤務等による開発スケジュールの遅延
- ✓ 取引先のリモートワーク(Web会議)等による発注・検収の遅延
- ✓ 取引先の予算の削減等による発注案件数の減少

- ✓ コロナ禍により、新規案件受託数の減少・既存案件の予算縮小等の影響もあり、前年同期比で売上高▲34%
- ✓ 開発原価の先行計上等による営業損失の増加

■ 事業概要

1. 太陽光発電施設の販売・設置・取次

- ✓ 利回り商品として投資家などへ販売
⇒ 表面利回り10%前後で提供

2. 不動産開発・販売

- ✓ 観光促進に伴うインバウンドおよび国内需要向けリゾート用地、付帯事業用地、周辺再開発用地の仕入販売
⇒ 宮古島リゾートホテル用地開発計画（仮称）に参画
- ✓ 商業施設、商業ビル、ホテル等の仕入販売

■ 販売状況

太陽光 ／ 不動産	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
2019年実績	3件	1件	0件	5件	9件
2020年	4件	2件	2件	-	-件
前年比	+1件	+1件	+2件	-件	-件

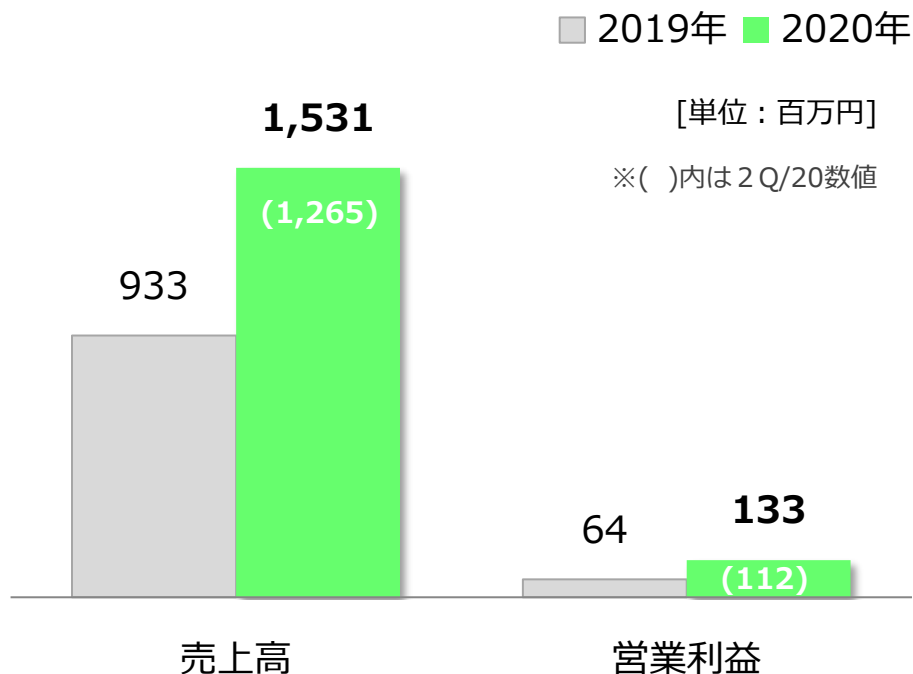
※2019年実績は太陽光発電施設の販売のみとなります。

■ 太陽光発電施設案件 進捗状況

	案件名	規模 (約kw)	連系 (予定)	進捗/スケジュール (2020年9月30日時点)
1	兵庫県S発電所	310	2月	連系・販売済み
2	兵庫県T発電所	1140	3月	連系・販売済み
3	長崎県 I 発電所	445	3月	連系・販売済み
4	長野県O発電所	113	4月	連系・販売済み
5	福岡県M発電所	491	5月	連系・販売済み
6	兵庫県T発電所	633	-	権利販売 (9月)
7	兵庫県T発電所	1179	9月	連系・販売済み
8	九州低圧14区画	1226	(4Q)	進行中
9	長野県N発電所	1608	(4Q)	進行中
10	静岡県H市発電所	97	(4Q)	進行中
11	静岡県H市発電所	76	(4Q)	進行中
12	静岡県H市発電所	258	(4Q)	進行中

※上記は2020年連系・販売予定案件のみのリストとなります。
2021年以降の連系・販売予定案件も随時仕入をおこなっております。

■ 売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動
～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ 太陽光発電設備の仕入販売強化
- ✓ 工程管理の徹底により期ズレの防止
- ✓ リゾート用地・ホテル用地の仕入販売

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第3四半期への影響

- ✓ 投資家における投資意欲の低下
- ✓ 工事工期等への影響は縮小傾向

想定リスク

- ✓ 資機材調達における輸入状況や生産調整等による納期遅延
- ✓ 投資家における投資意欲の低下の継続

✓ 太陽光案件における工程管理の徹底等により2案件の販売、前年同期比で売上高+64%

✓ 前四半期(2Q)比では売上高+21%・営業利益+18%

✓ 売主の設備工事不履行による前渡金62百万円の特別損失計上(※1)

■ 事業概要

1. カジノゲーミングマシン販売・企画・開発・保守

✓ 販売先：海外カジノ運営施設、販売代理店

[開発実績]

✓ スロットマシン：RGX-1000シリーズ

✓ 適合済み国際基準《テスト機関：bmm Testlabs(※1)》

■ DICJ“Macau”Standards(※2)

① Electronic Gaming Machines Technical Standards

[ハードウエア ⇄ ソフトウエア] – 基幹(ベース)システム

② Jackpot Technical Standards

[多数のマシンを連動させたジャックポット、ディスプレイ通信等] – ジャックポット機能

③ Advanced Funds Transfer (AFT)

[マシンとカジノ会計システムを繋ぐ最新電子資金振替システム]

– AFT対応機能

2. PIXEL CASINO PLATFORM(PCP)企画・販売

✓ 販売先：国内企業(新規参入/IPホルダー(※3))

✓ ゲーミング開発におけるカジノ参入ソリューション

・当社カジノマシンプラットフォームを活用し、有名IPをカジノゲーミング化、開発期間・コストの圧縮を実現

・[企画]-[開発]-[製造]-[販売支援]までワンストップソリューション

■ 販売進捗状況

マシン	開発	認証 検査 (※4)	規制当局 申請 (※5)	販売活動			販売
				検査 申請 (※6)	施設内 テスト (※7)	トライ アル	
マカオ①							
マカオ②							
マカオ③							
マカオ④							
フィリピン			フィリピン(PAGCOR)				

海外渡航制限・カジノ施設の営業縮小
による営業活動の一時中断

PCP	商談	契約	開発	認証 検査	規制当局 申請	販売 活動	販売
A(IP 対応)							
B(ゲーム)							
C(IP 対応)							
D(IP 対応)							

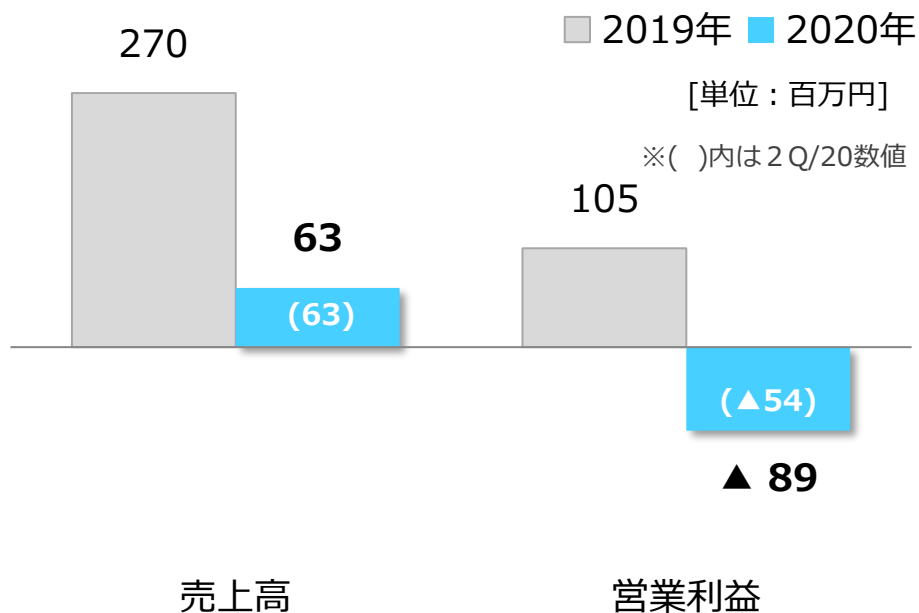
(※4) 認証検査：検査機関（Bmm等）による各地域基準の適合を得る

(※5) 申請：各地域における政府規制当局（マカオDICJ等）に機械や販売許可を申請

(※6) カジノ施設との設置協議による仕様変更後、再度「検査」「申請」が必要
(国・施設ごとに相違)

(※7) 施設内テスト：カジノ施設の会計システム等と実機の連動確認テスト後、マカオの場合、
規制当局DICJによる現地立会い検査を要する

■ 売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動

～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ カジノゲーミングマシン（TEKKENシリーズ含）の販売・販路拡大
- ✓ PCP販売の拡大【新規有名IPの獲得・開発受託】
- ✓ e-Sports関連の事業化
- ✓ ゲーミングアプリケーションシステム開発・販売
- ✓ 日本型Integrated Resorts(日本IR)コンソーシアムへの参画

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第3四半期への影響

- ✓ 海外渡航制限
- ✓ カジノ施設の営業縮小等による販売活動の縮小/一時停止

想定リスク

- ✓ 新規マシンの需要数減少
 - ・渡航制限によるカジノ施設への来場者の減少(※1)
 - ・長期化による海外IR事業者の財務状況の悪化(※2)
 - ・カジノ施設の営業縮小・稼働率制限 等(※3)

✓ コロナ禍に伴い、ゲーミングマシンの販売活動停止状況が継続

✓ 日本IR参入に向けた活動費等の先行計上により営業損失が増加

※1) マカオ渡航制限の緩和：外国住民(中国本土・香港・台湾除く)の入境禁止継続・中国全土でマカオ観光ビザ発給再開(香港・台湾からは14日間隔離継続)
 → 2020.9/27 マカオ統計国勢調査局(DSEC)発表：訪問者数9月度前年比83.8%減（前月比97.7%増）

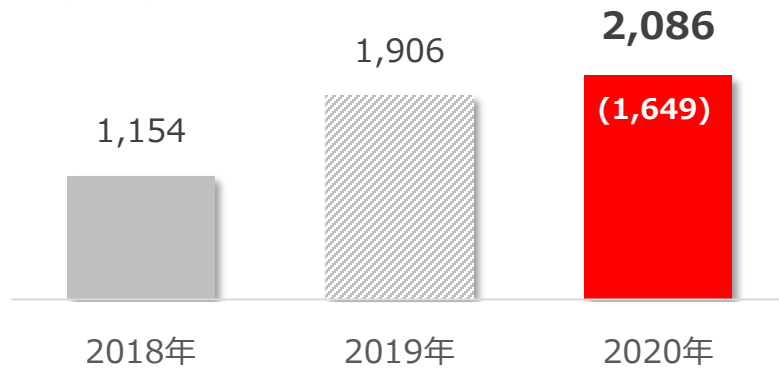
※2) マカオカジノ市場：(2020.10/16 DICJ発表)2020.3Q(7-9月)カジノ粗収益（GGR）前年同期比93%減
 マカオカジノ市場：(2020.11/1 DICJ発表)10月GGR前年同月比72.5%減・1-10月累計GGR前年期間比81.4%減

※3) 米国ネバタ州(2020.9/30 ネバタカジノ管理委員会発表)：カジノ粗利（前年同月比）2020.8月22%減、7月26%減（50%キャパシティ制限等）

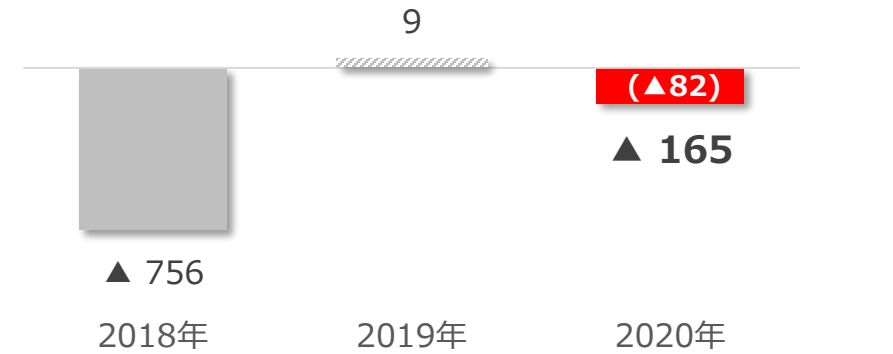
■ ピクセルカンパニーズ連結業績

■ 連結経営成績 [3カ年同四半期比]

■ 売上高



■ 営業利益



■ 経常利益

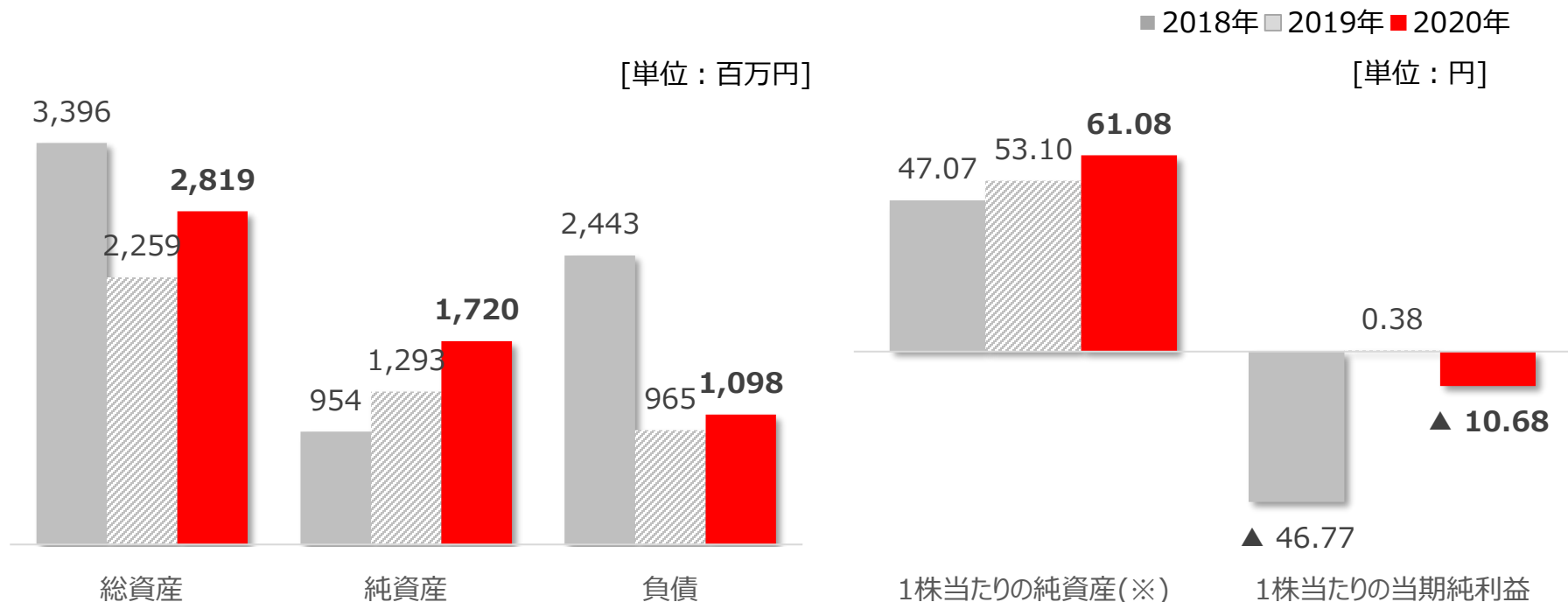


■ 当期純利益



✓ 前年同期比で売上高は+9%と微増、コロナ禍の影響(営業活動の制限等)により利益の減少

■ 連結財務状況 [3カ年同四半期比]



✔ 前年同期比で総資産の増加：

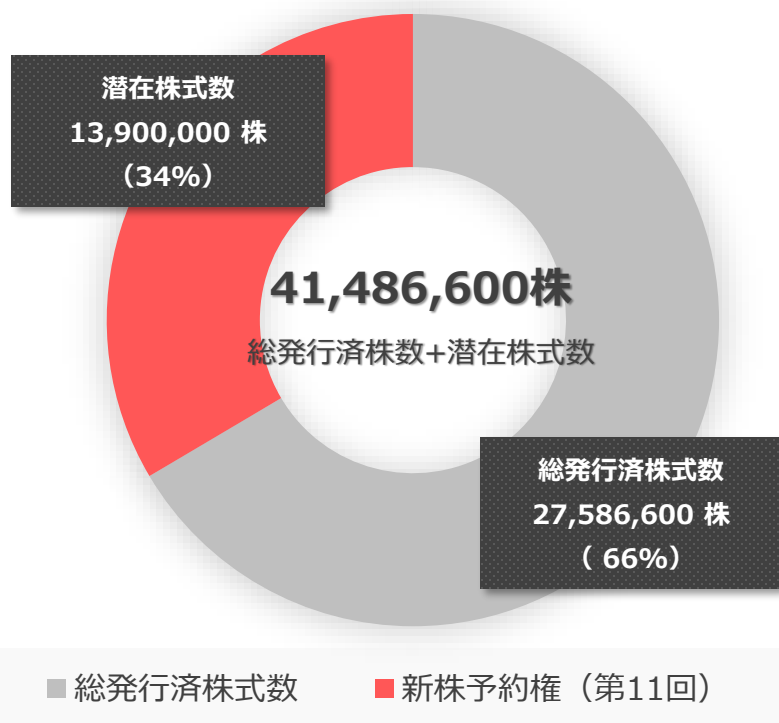
ディベロップメント事業におけるリゾート用地、太陽光案件の仕入に係る前渡金の増加

✔ 前年同期比で負債の増加：

ディベロップメント事業における太陽光案件の仕入に係る短期借入金の増加

■ ピクセルカンパニーズ連結業績

■ 潜在株式数



✓ 総発行株式数 (※1)	27,586,600 株 (2020年9月30日)
✓ 第11回新株予約権	
発行予約権数	13,900,000 株
未行使数 (※2)	13,900,000 株
行使価格(/1株)	170 円
調達予定総額	2,363,000,000 円
✓ 全数行使後の総発行株式数	41,486,600 株

(※1)2020年8月19日付で第三者割当による新株式2,100,000株の発行。

(※2)2020年11月12日時点で新株予約権の行使はございません。

※ご参照

2020年7月30日付「第三者割当により発行される新株式及び第11回新株予約権の募集に関するお知らせ」

2020年8月19日付「第三者割当により発行される新株式及び第11回新株予約権の払込完了に関するお知らせ」

ご質問、ご意見に対するご説明

多数のご質問・ご意見をいただきまして、心より御礼申し上げます。

お寄せいただきましたご質問・ご意見に対する説明が、該当事業における顧客情報等を含め、今後の営業活動に支障をきたすと想定されるもの、インサイダー取引規制に抵触する可能性が想定されるもの、ならびに本事業説明資料の内容がご回答となるもの、その他適時開示を要する内容へのご説明は差し控えさせていただいております。

1. 日本IR開業までの流れ



2. ピクセルカンパニーズグループの活動

- ✓ 海外のIR事業者やIR領域の投資家とのネットワークを形成
- ✓ 日本IRへの事業参入を目指す有力候補地の自治体や地元企業へ積極的にアプローチ
- ✓ 候補地のIR誘致準備支援、海外事業者との仲介役
- ✓ 情報提供依頼(RFI)、事業構想公募(RFC)、事業提案公募(RFP)に参加/参加準備
- コンソーシアム(※2)の組成により立候補地のRFPに参加

↓

コンソーシアムの組成/参画の開始

↓

RFPの参加準備開始

(※1) 新たな基本方針案の公表

✓ 区域整備計画の認定申請(地方自治体⇒国)期間の9か月延期案

2021年1月～2021年7月→**2021年10月1日～2022年4月28日**

[2020年10月9日 国土交通省観光庁より]

3. 当社が参画するコンソーシアムの経過

✓ IR業界の世界的スペシャリストの参加

PIXEL
COMPANYZ INC.

TTL
Resorts

海外のIR業界と連携し、日本へのIR誘致を進めた代表と、ゲーミング会社の上場・カジノ関連施設の買収案件など、IR業界において多数の投資案件を手掛けた取締役が設立。大手カジノ事業者元社長がパートナー。

GRUPE
PARTOUCHE

Group Partuche SA(仏)

1973年創業。フランスを中心に42のカジノ施設を運営する欧州大手企業。ユーロネクスト・パリ上場。



Paul Steelman

Steelman Partners, LLP.(米)

Mirage Resortsにて功績を上げたPaul Steelman率いる建築設計会社。同社代表は世界各国のカジノリーダーと共に多数のプロジェクトにて成功収めた経験を持つ。



Alidad Tash

2NT8 Ltd.(HK)

カジノ及びIRを専門とする2NT8のマネージング・ディレクター。ベネチアン・ラスベガスとサンズ・チャイナにてアナリティクスをリードし、メルコリゾートでも戦略とゲーミング業務を監督した経験を持つ。

※ご参照 2020年3Q以降発表 (今後も日本IR参入に向けた取組み等を随時リリースしていく予定です。)

- ① 7月30日付「資本・業務提携に関するお知らせ」・2020年8月6日付「(補足)資本・業務提携に関するお知らせ」
- ② 8月13日付「(開示事項の経過)資本・業務提携に関するお知らせ」
- ③ 10月6日付「業務委託契約の締結に関するお知らせ」
- ④ 10月21日付「業務委託契約の締結に関するお知らせ」・「Alidad Tash氏(2NT8社)との提携に関するお知らせ」(プレス用)
- ⑤ 10月26日付「当社が参画する日本型IRプロジェクトメンバーに関するお知らせ」(プレス用)

■ 当社が参画するコンソーシアムが長崎県のRFPへ応募することを正式に表明

2020年11月16日付公表(※1)のとおり、当社とTTL社が共同で組成し、IR業界の世界的なスペシャリスト達がジョイントするコンソーシアムは、長崎県IRのRFPプロセスに参加いたします。

◇ 長崎県 I R について

長崎県は、日本IR誘致に向けた活動を早期段階から積極的に進めており、全国でも数少ない正式表明済みの立候補地の1つとして、長崎県・佐世保市議会や民間団体、長崎県内および九州全体の経済界も含めて誘致を進める全国有数の候補地です。

■ 九州・長崎 I R 基本構想 (※2)

- ✓ まち・ひと・しごとづくりの各分野を横断的に包含するプロジェクト
- ✓ 広域周遊の促進や周辺地域との連携など、広域的波及が期待されるプロジェクト
- ✓ 地方を拠点とした新たな人の流れの創出をはじめ、日本創生にインパクトをもたらすプロジェクト

■ 九州・長崎 I R コンセプト 世界と日本をつなぐ [九州創生 I R]

- ✓ 当社が参画するコンソーシアムは、日本政府が目指す「観光立国」と、地方都市ならではの「地方創生」の実現にむけ、豊かな自然と歴史的にも国際色が豊かな港町である長崎県・佐世保市から、九州・長崎は勿論、日本の魅力を最大限に発信できる、世界最高水準の I R 開発を目指してまいります。

■ 当社グループにおける新型コロナウイルス感染症への取組み

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、感染拡大により影響を受けられた皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、罹患された皆様の一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

■ ステークホルダーの健康と安全を最優先に

従業員

- ✓ 個々人の体調確認
 - ・軽度の体調不良時はテレワーク推奨
- ✓ うがい・手洗い・手指消毒の実施
- ✓ マスクの常時着用
- ✓ リモートワークの推奨
 - ・WEB/電話会議等の活用
- ✓ 感染発覚時の連絡体制・復帰ルール化 等
- ✓ 手指消毒液の複数配置
- ✓ 定期的なオフィスの換気(窓の開放)と
空気清浄機・空間除菌器の設置
- ✓ 各所の定期消毒

お客様

- ✓ 来訪時のマスク着用をお願い
- ✓ 手指消毒実施をお願い
- ✓ テレビ電話会議等の活用

地域

- ✓ 医療機関従事者向けマスクの手配支援
 - ✓ 医療機関従事者向けマスクの寄付
- ※支援先等は、公表しておりません。

■ 当社ならびに当社代表に対する控訴審の勝訴に関して

[概要]

✓ 原告 / 控訴人：有限会社咲良コーポレーション

✓ 訴訟内容：損害賠償請求

✓ 第一審：東京地方裁判所

2016年11月26日 訴訟の提起（訴状送達：同年12月8日、当社公表：同年12月9日）

2018年10月15日 第一審判決（当社公表：同年10月16日）：**原告の請求をいずれも棄却＝勝訴**

✓ 控訴審：東京高等裁判所

2018年10月26日 控訴の提起（控訴状送達：2019年1月10日、当社公表：同年1月11日）

2020年10月14日 控訴審判決（当社公表：同年10月15日）：**控訴人の請求をいずれも棄却＝勝訴**

2020年11月3日 判決確定（判決確定証明受領・当社公表：同年11月13日）：**勝訴判決の確定**

2020年10月15日付で公表(※1)のとおり、当社ならびに当社代表に対する損害賠償請求訴訟（控訴審）において、第一審判決に続き、当社の正当性を全面的に認めた勝訴判決が、東京高等裁判所より言い渡されました。また、2020年11月13日付の公表(※2)のとおり、本件訴訟における上告期間内に裁判所への上告提起がなされなかったことから、第一審、第二審の当社勝訴判決により、本件訴訟は確定に至っております。

**一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、
皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。**

PIXEL COMPANYYZ INC.